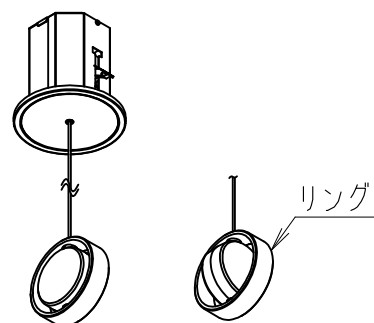
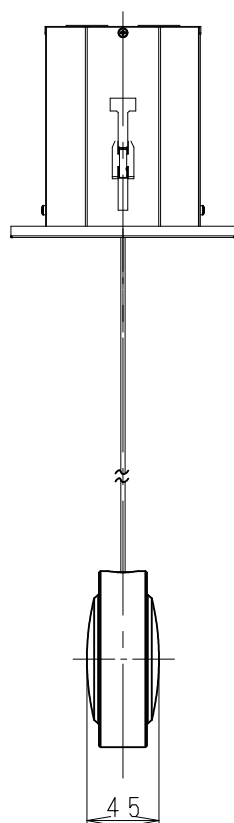
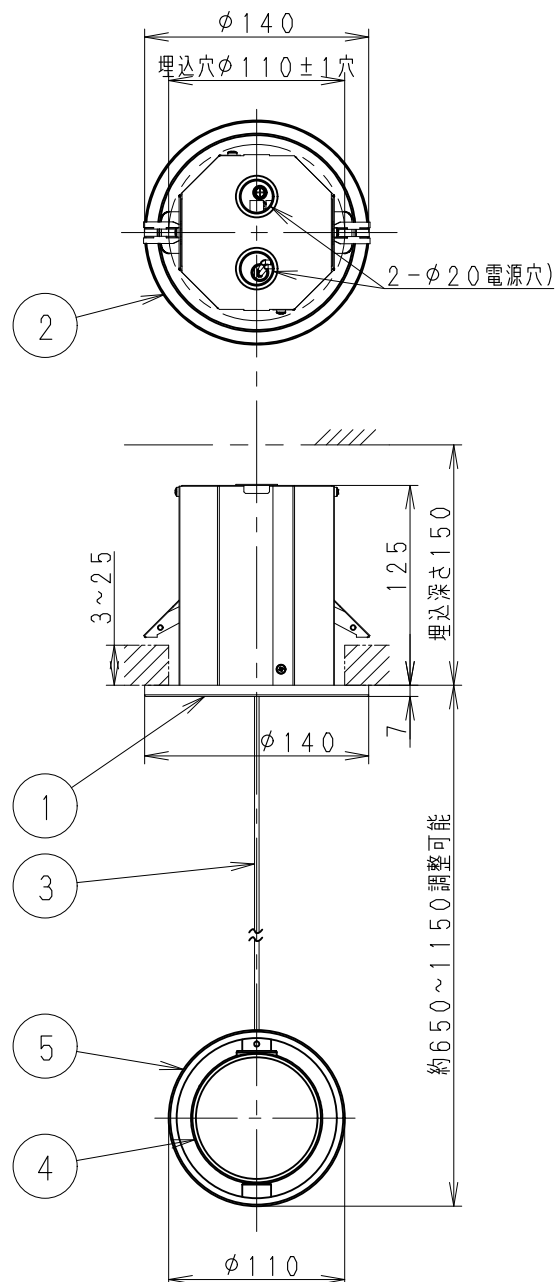


埋込穴寸法
 $\phi 110 \pm 1$

安全に関するご注意

- ・一般屋内用器具です。
 屋外や水気、湿気のある所では使用しないでください。
 絶縁不良による感電の原因となります。
- ・天井埋め込み専用器具です。
 補強のない天井には取り付けないでください。
 器具質量と高さ調整操作に十分耐えるよう、
 取付部の強度を確保してください。
 不備がありますと器具落下の原因となります。
- ・多灯設置する場合、風などにより器具どうしが当たらないよう器具の間隔をあけてください。
- ・器具の揺れなどで壁に接触しないよう壁の近くに取り付けないでください。
- ・調光器と組み合わせて使用しないでください。
 火災の原因となります。

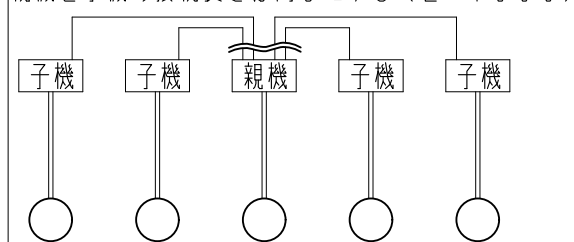


※リングは任意の位置に動かせます。

<使用上のご注意>

- ・LEDにはバラツキがあるため、同一品番商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- ・器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入る場合があります。


親機と子機の接続長さは同じにする (L=1000)



・ガラスとガラスは当たらない設定にしてください。

LEDの光束維持時間：40,000時間

※スマートフォン アプリのダウンロードにて
 フェード機能・調光機能の調整ができます。

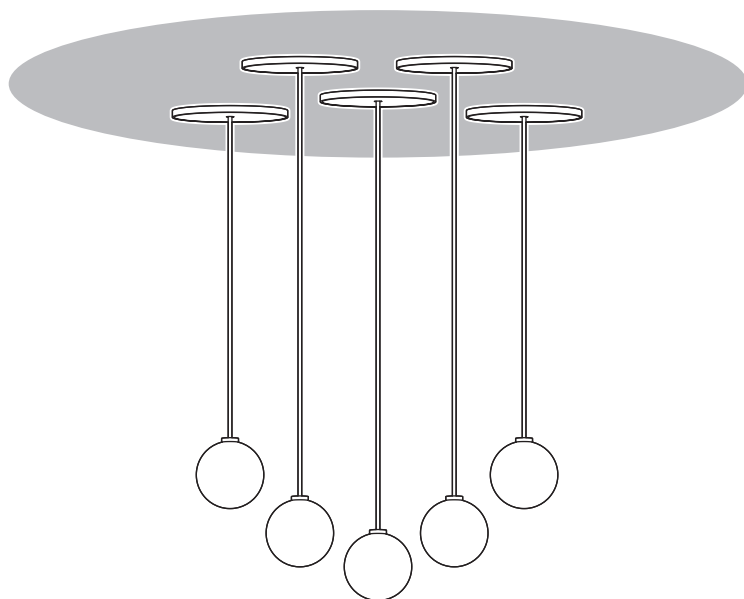
※スマートフォン アプリのダウンロードにて フェード機能・調光機能の調整ができます。				フェード機能		消灯時 点灯時		1 秒～20 秒		特記事項 適合親機 ：RKY17W1JP が必要です
				調光機能				0～100%		
				光色				3000K		
5	リ　　ン　　グ	ABS樹脂	クローム調仕上げ	定格値（子機4台持続時）						品名 FEM（子機）
4	吹きガラス	ソーダガラス	部分カスミパターン 部分マット仕上げ	周波数	50／60　Hz					
3	細線ケーブル	外径（φ2．7）	透　　明	定格電圧	100　V		240　V		型番 RKY17W2JP	
2	取　付　板	SPCC（t0．8）	ホワイト塗装	定格電流	0．08　A		0．04　A			
1	カ　バ　ー	SPCC（t1．0）	ホワイト塗装	消費電力	4　W		4　W			
部番	部　品　名	材　　質	備　　考	器具質量	1．0　Kg					

単位：mm 第三角法 (JIS A-4)

レイゾン株式会社

RKY12W1 JP

RKY17W1 JP



※イラストはイメージです。
灯具の形状は品番により異なります。

・本器具1台に、専用連動器具4台まで接続することができます。

専用連動器具品番	RKY12W2 JP (RKY12W1 JP 用)
	RKY17W2 JP (RKY17W1 JP 用)

・品番末尾の「JP」は日本国内専用器具を表します。

・本器具の操作にはスマートフォン、またはタブレットが必要です。
本器具にスマートフォン・タブレットは付属しておりませんので
別途ご用意ください。

■もくじ

安全上のご注意	2
FEMについて	2
施工上のご注意	3
施工前のご準備	4
各部の名前	5
器具の施工方法	6
専用連動器具の施工方法	7
モードスイッチの設定	8

お客様へ

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず販売店、工事店にご依頼ください。
この説明書には器具の設定方法が記載されています。取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。



■安全上のご注意

⚠ 警告

- 器具の施工は、説明書に従い確実に行う
取り付けに不備があると火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
- 器具の施工は、必ず電源を切ってから行う
感電によるけがの原因となります。
- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電によるけがの原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。
- 調光器と組み合わせて使用しない
調光機能付きスイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となります。

- 次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- ✕ ・補強のない場所
- ✕ ・傾斜した場所

（この器具は水平天井面半埋め込み専用です。）

- 断熱材・防音材をかぶせた状態で使用しない
火災のおそれがあります。



- 次のような場所では使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。

- ✕ ・自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く
- ✕ ・病院内や医療用電気機器のある場所

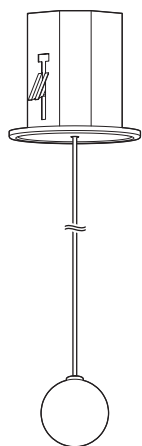
⚠ 注意

- 周囲温度は、5～35℃で使用する
指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや耐用年限が短くなる原因となります。
- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となります。
この器具は防湿・防雨型ではありません。

- 多灯設置する場合、風などにより器具どうしが当たらないよう、器具の間隔をあけて取り付ける
器具破損の原因となります。
- 器具の揺れなどで壁に接触しないよう、壁の近くに取り付けない
器具破損の原因となります。

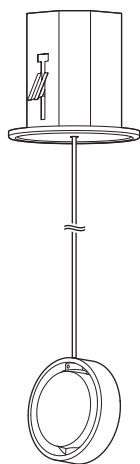
■FEMについて

- 灯具の形状により下記の品番があります。



RKY12W1

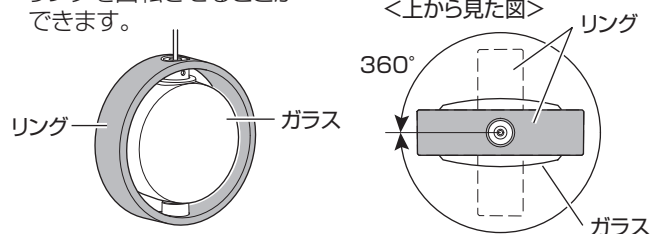
専用連動器具：RKY12W2
（灯具部：球形）



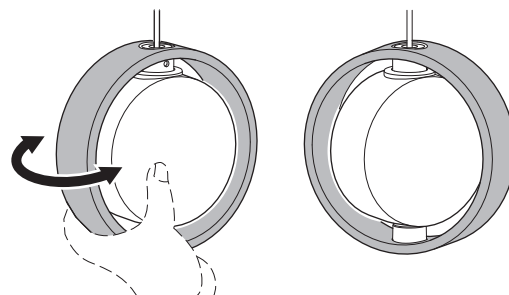
RKY17W1

専用連動器具：RKY17W2
（灯具部：円筒形）

円筒形の灯具について
リングを回転させることができます。



・リングの回転はガラスを支えながら行ってください。

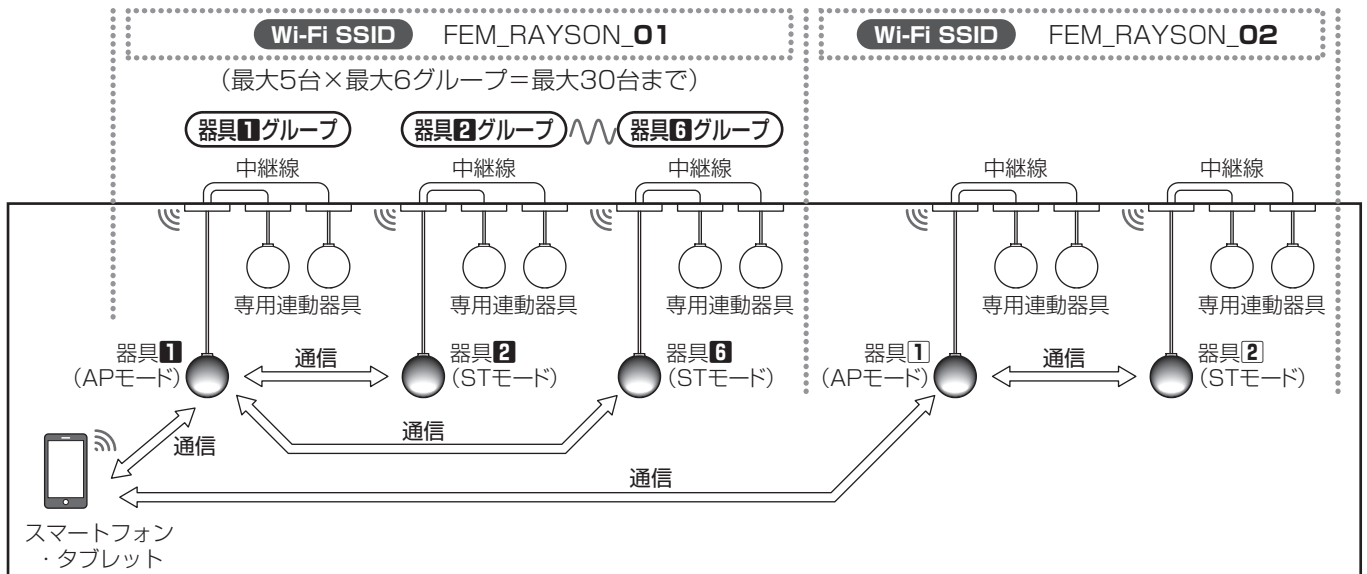


■施工上のご注意

●この器具は Wi-Fi 機能を搭載しています。

同じ Wi-Fi SSID に設定された器具は無線で接続され、最大30台まで一括操作を行うことができます。
(Wi-Fi SSID は4つまで設定できます。)

<接続例イメージ図> ※本図はイメージ図です。信号送受信部は器具の天井側にあります。



- ・1台の器具に、専用連動器具を4台まで接続することができます。(中継線接続)
- ・1台の AP モード器具に、ST モード器具を5台まで接続することができます。(Wi-Fi 接続)
(ST モード器具、及び専用連動器具を単独で操作することはできません。)

*動作の詳細及び接続設定は、「モードスイッチの設定」(8ページ)をご参照ください。

●器具と専用連動器具との接続は、専用連動器具に同梱の中継線で行ってください。

- ・器具1台に、専用連動器具4台まで接続することができます。
- ・専用連動器具単体では点灯しません。
- ・専用連動器具どうしを接続することはできません。

●器具と専用連動器具の施工を行う場合、専用連動器具の施工を先に行ってください。

●必ず壁スイッチを設けてご使用ください。(スイッチは器具の台数分を別途ご用意ください。)

通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。

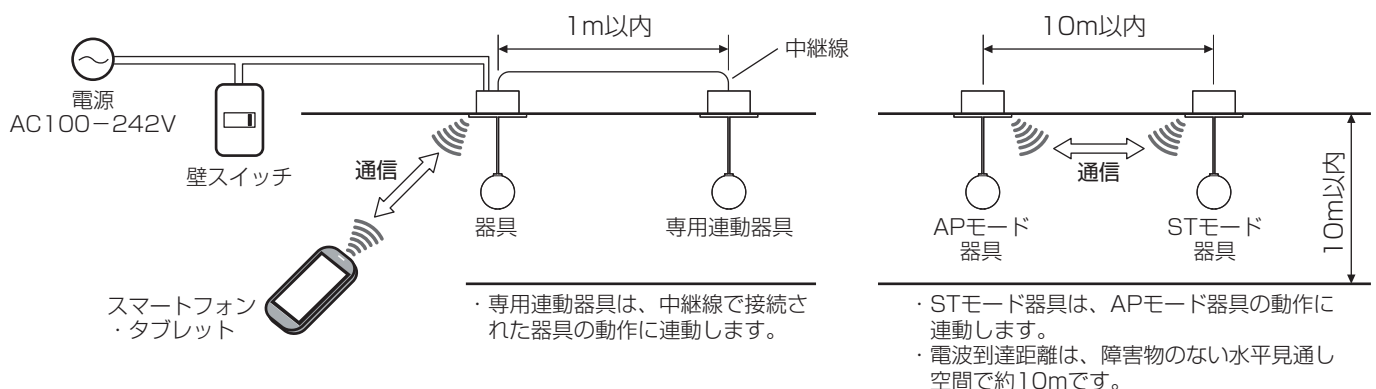
壁スイッチがないと、

- ・モードスイッチの設定(8ページ)ができません。
- ・点灯操作に不具合が生じた場合、リセットできません。
- ・スマートフォン・タブレットで消灯しても、待機時消費電力を消費しています。

●電波到達距離は、障害物のない水平見通し空間で約10mです。

障害物や設置環境によっては、電波到達距離が短くなったり、電波が弱くなったりします。

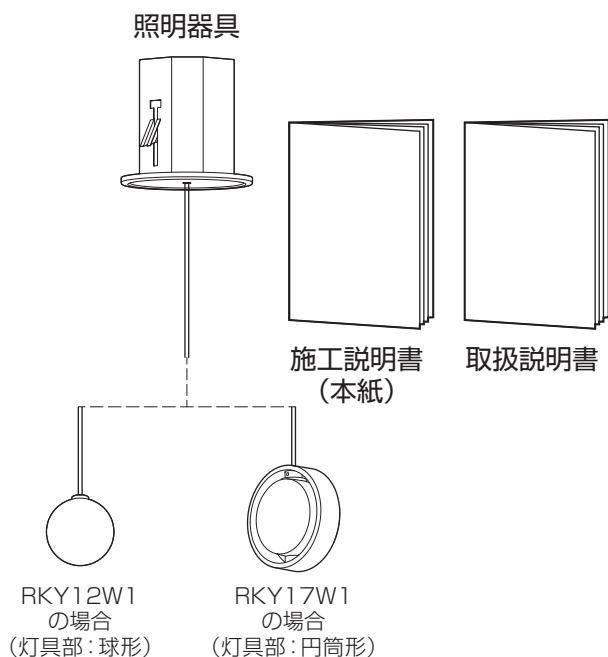
- ・信号送受信部は器具の天井側にあります。床面から10mまでの天井に取り付けてください。
- ・AP モード器具とST モード器具の間は10m以内とし、間に壁や障害物がない空間に取り付けてください。



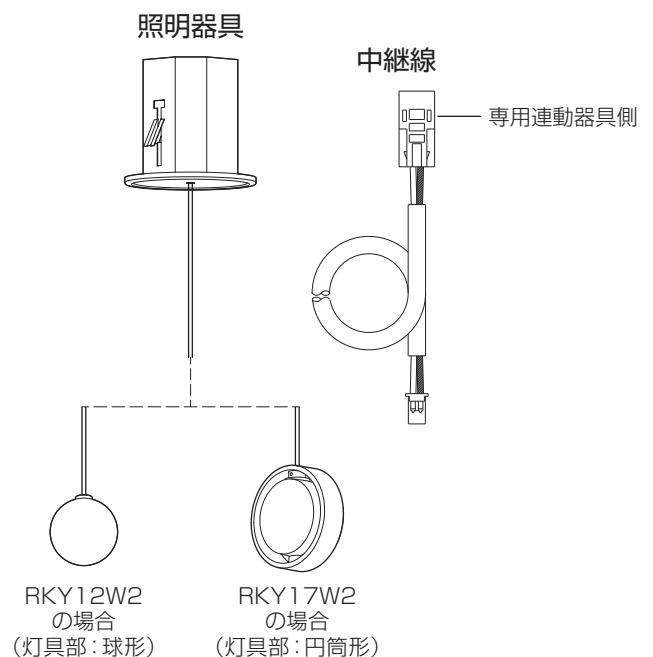
■施工前のご準備

- ・施工前に内容物をご確認ください。

器具 (RKY12W1/RKY17W1) 同梱物

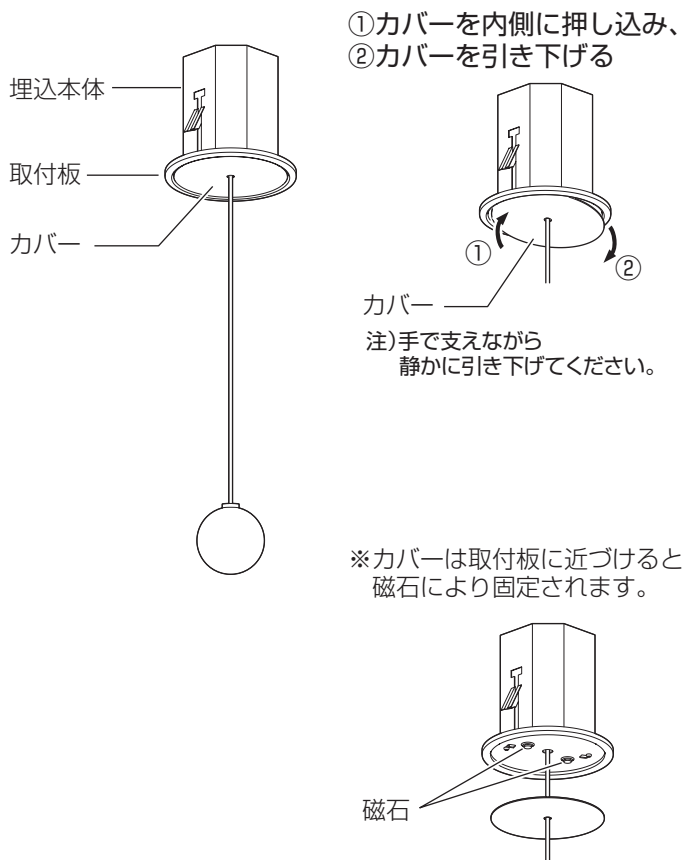


専用連動器具 (RKY12W2/RKY17W2) 同梱物

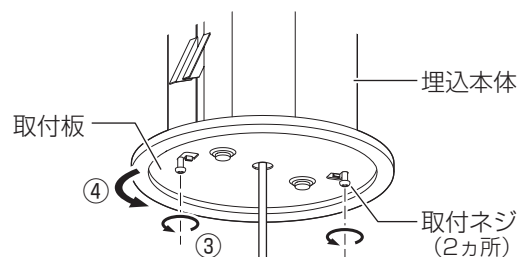


- ・埋込本体からカバー・取付板を取り外してください。

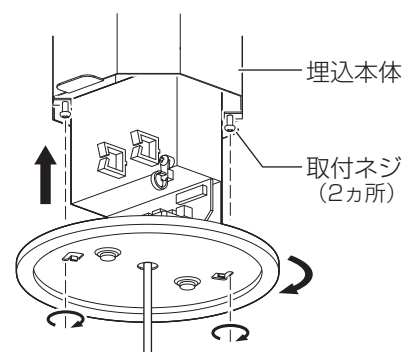
カバー・取付板の取り外しかた



- ③取付ネジ (2ヵ所) を 5mmほど緩め、
- ④取付板を左に回して
埋込本体から取付板を取り外す

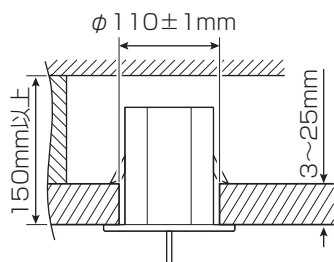


※取付板の取り付けは、
取付板を取付ネジ (2ヵ所) に合わせて押し上げ、
右に回して取付ネジ (2ヵ所) を締め付けてください。
(埋込本体と取付板の間にコードが挟まれていない
ことを確認してください。)

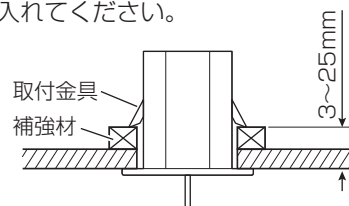


・取付場所をご確認ください。

- ・器具質量（約1.3kg）と高さ調整操作に耐える強度を確保してください。
適合する造営材の厚みは3～25mmです。
- ・埋込穴寸法は $\phi 110 \pm 1\text{mm}$ 、埋込深さは150mm以上確保してください。



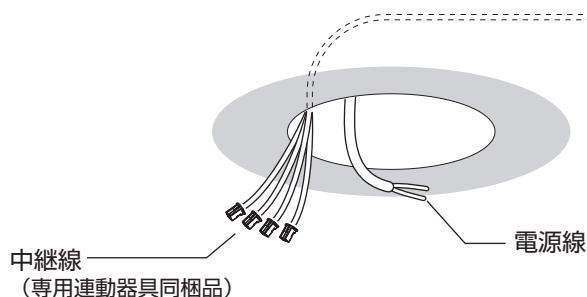
- ・ロックウール等のやわらかい天井、珪酸カルシウム板の天井に取り付ける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材（鉄板、木片等）を入れてください。



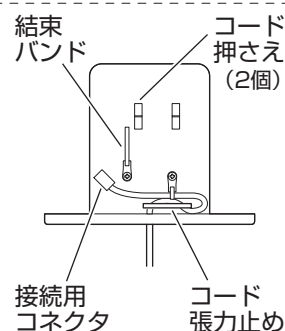
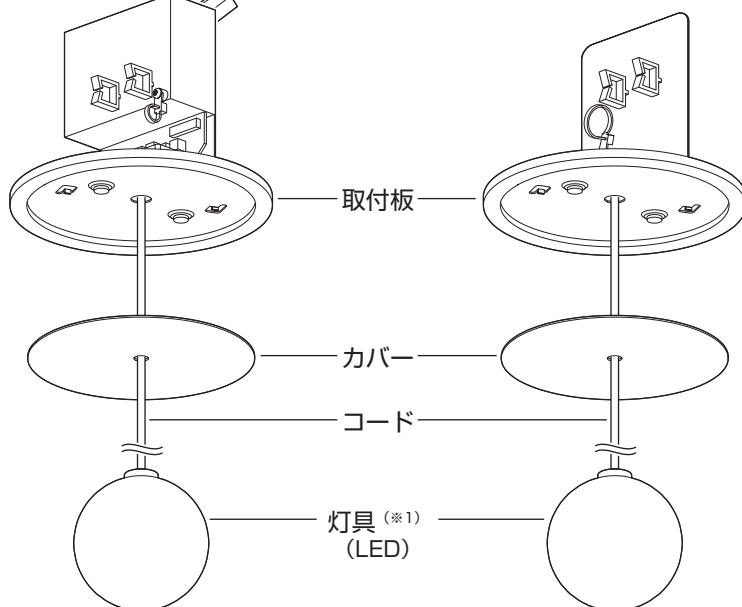
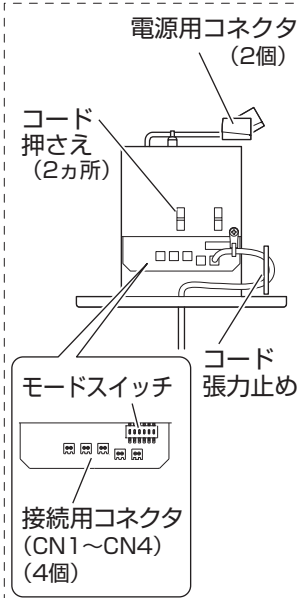
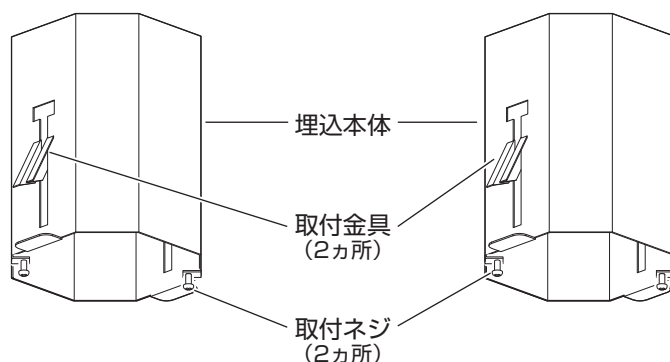
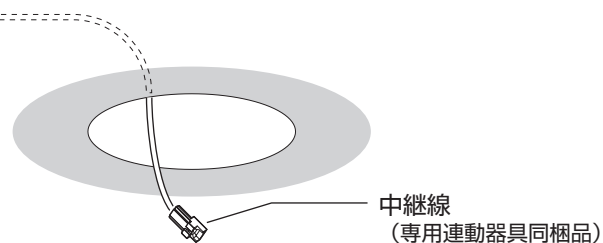
■各部の名前

本器具

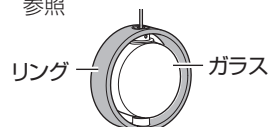
専用連動器具



※専用連動器具は4台（中継線4本）まで接続可。



※1)
・灯具の形状は品番により異なります。
・円筒形の灯具はリングを回転させることができます。
詳細は2ページ「円筒形の灯具について」参照



■ 器具の施工方法

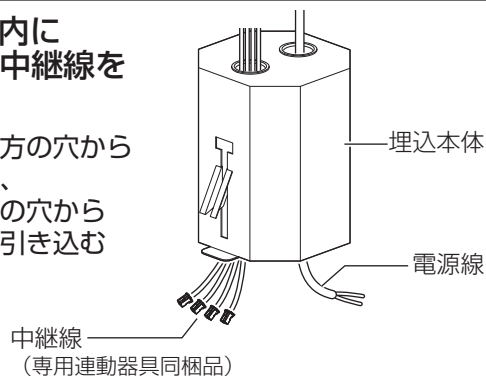
- ・電源を切ってから行ってください
- ・専用連動器具がある場合、本器具の施工の前に、専用連動器具の施工を行ってください。(次ページ参照)

1 天井面に埋込穴をあける

- ・埋込穴径： $\phi 110 \pm 1\text{mm}$

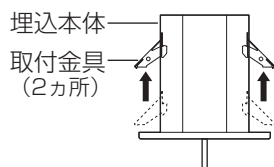
2 埋込本体内に電源線と中継線を引き込む

- ・背面の一方の穴から電源線を、もう一方の穴から中継線を引き込む

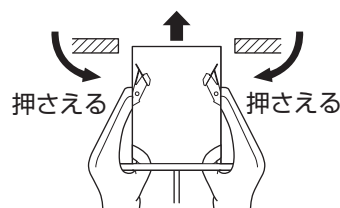


3 埋込穴に埋込本体を取り付ける

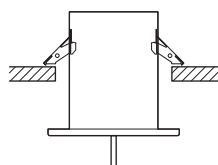
- ① 取付金具を上
の位置へずらす



- ② 取付金具を
押さえながら
埋込本体を
埋込穴に挿入する

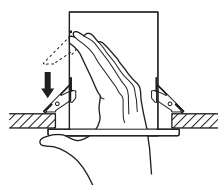


- ③ 仮止め状態にする



- ④ 取付金具を引き下げ、
埋込本体を固定する

- ・取り付け後、埋込本体にガタツキがないことを確認してください。

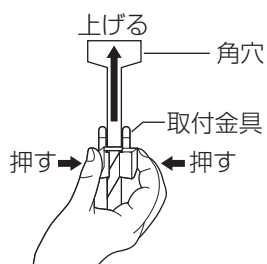


取付金具の上げかた

- ・押し縮めながら上げる。

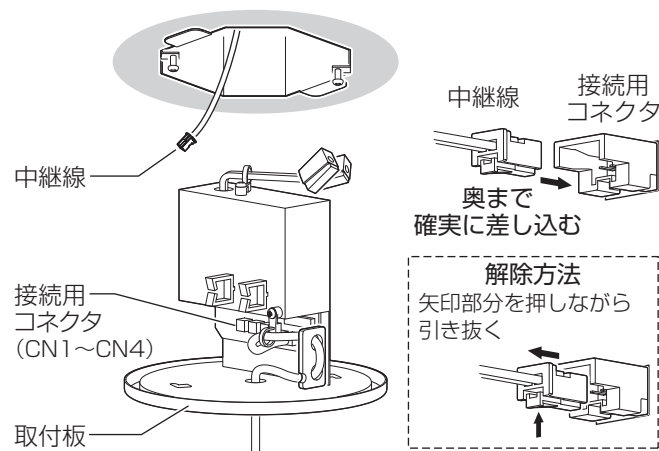
取付金具の外しかた

- ・押し縮めながら上げて角穴から取り外す。



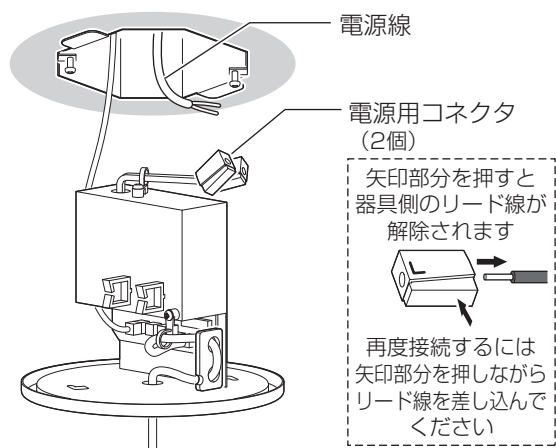
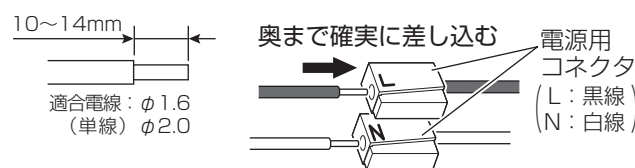
4 中継線を接続する

- ・接続用コネクタに中継線を差し込む

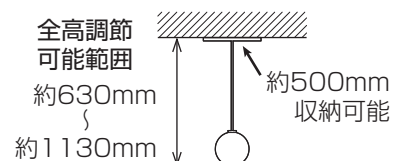


5 電源線を接続する

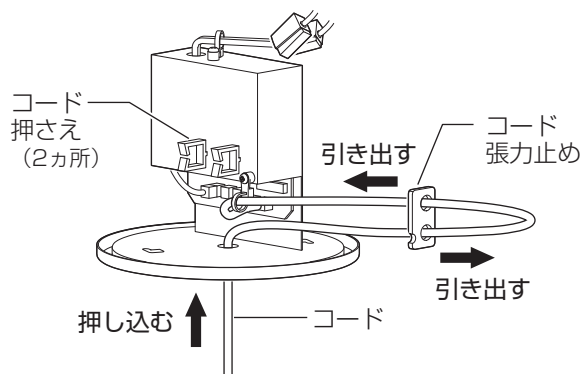
- ・電源用コネクタに、電源線を差し込む



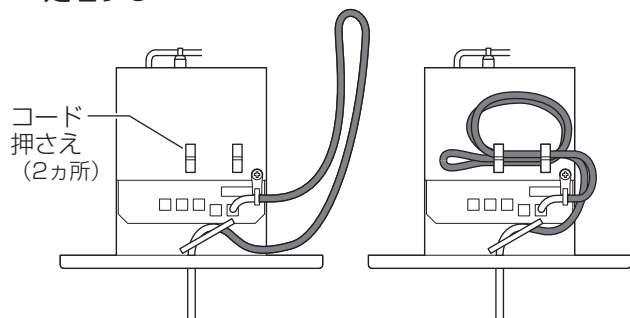
6 コード長さを調整する



- ①コードを取付板内に押し込み、
コード張力止めから余ったコードを引き出す



- ②コード押さえ (2カ所) で余ったコードを
処理する

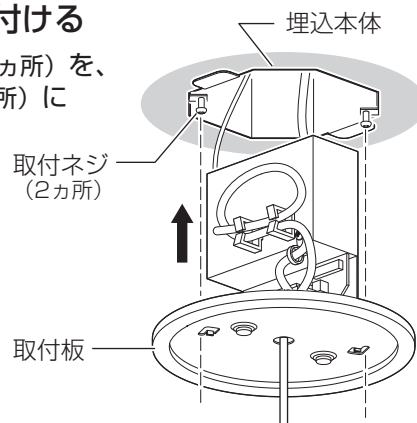


7 モードスイッチの設定を行う

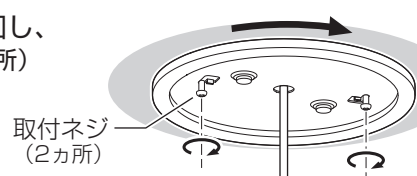
・8ページ「モードスイッチの設定」参照

8 取付板を取り付ける

- ①取付板の穴 (2カ所) を、
取付ネジ (2カ所) に
合わせて
押し上げる

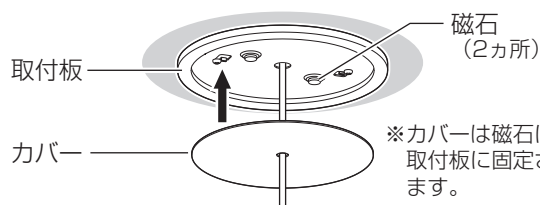


- ②取付板を右に回し、
取付ネジ (2カ所)
を締め付ける



※埋込本体と取付板の間に
コードが挟まれていないことを確認してください。

9 取付板にカバーを取り付ける



※カバーは磁石により
取付板に固定され
ます。

・カバー・取付板の取り外しは、
4ページ「カバー・取付板の取り外しかた」参照

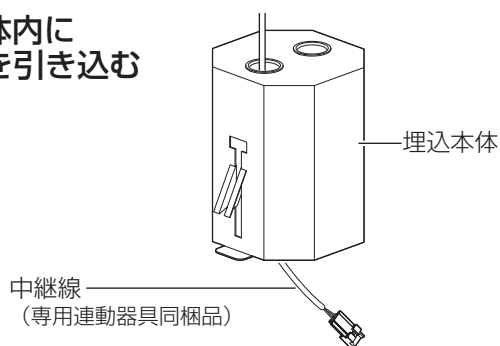
専用連動器具の施工方法

・専用連動器具がある場合、本器具の施工の前に、専用連動器具の施工を行ってください。

1 天井面に埋込穴をあける

・埋込穴径：φ110±1mm

2 埋込本体内に 中継線を引き込む

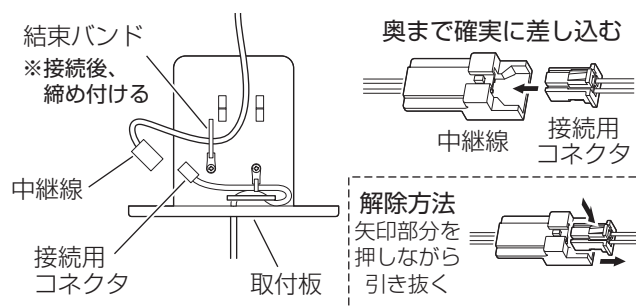


3 埋込穴に埋込本体を取り付ける

・前ページ手順 3 参照

4 中継線を接続する

- ①結束バンドに中継線を通し、
中継線と接続用コネクタを接続する
②結束バンドを締め付け中継線を固定する



5 コード長さを調整する

・前ページ手順 6 参照

6 取付板とカバーを取り付ける

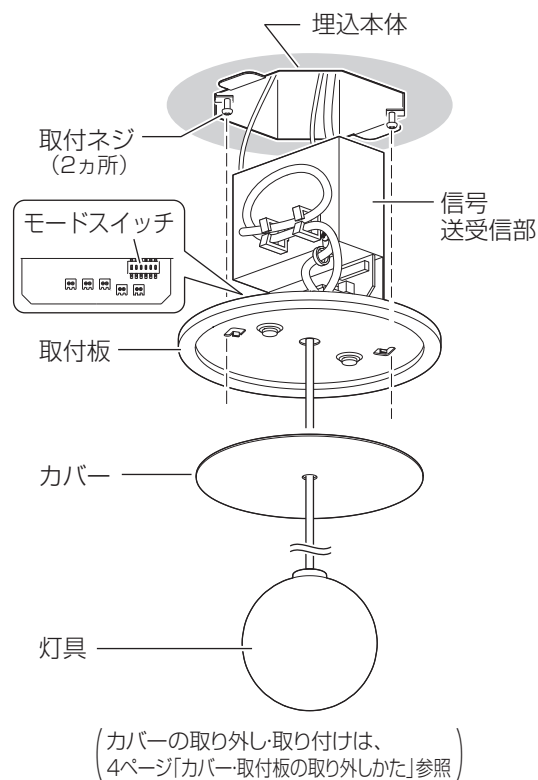
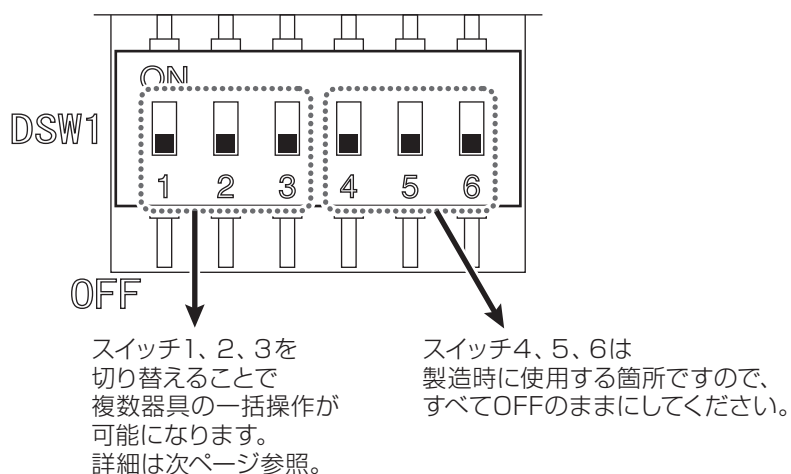
・上記手順 8 9 参照

■モードスイッチの設定

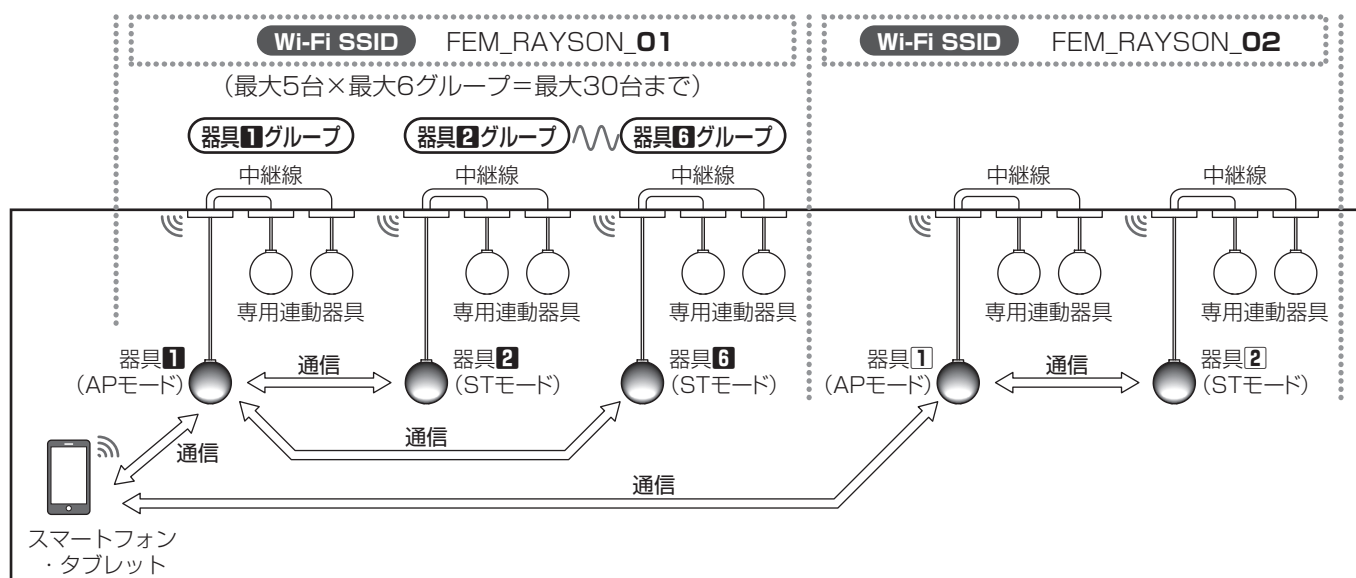
- この器具は Wi-Fi 機能を搭載しています。
専用アプリケーションをダウンロードしたスマートフォン・タブレットで点灯や調光操作が行えます。
- 専用アプリケーションで器具を操作するには、モードスイッチの設定が必要です。
器具の使用の前に、モードスイッチの設定を行ってください。
- モードスイッチの設定は、必ず電源を切った状態で行ってください。

<モードスイッチ>

(工場出荷時、スイッチはすべてOFFになっています)



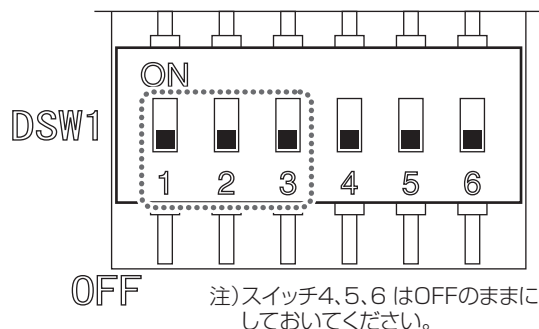
<接続例イメージ図> ※本図はイメージ図です。信号送受信部は器具の天井側にあります。



- ・スマートフォン・タブレットは、APモード器具と通信します。
APモード器具から同じ Wi-Fi SSID のSTモード器具に信号が送られ、専用アプリケーションで一括操作することができます。
- ・APモード/STモードの設定、Wi-Fi SSID の設定は、器具内のモードスイッチで行います。
詳細は次ページ参照。

モードスイッチ1、2、3を設定することにより、
複数器具の一括操作が可能になります。
※設定した内容は必ず取扱説明書（4ページ）に記入してください。

スイッチ 1	スイッチ 1 とスイッチ 2 の ON/OFF の組み合わせで
スイッチ 2	Wi-Fi SSID を設定します。
スイッチ 3	Wi-Fi モード を切り替えます。



Wi-Fi SSID の設定

SSID を4つまで設定できます。

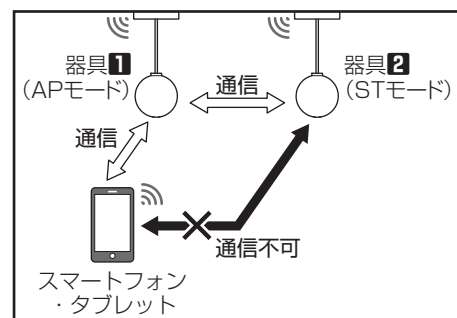
スイッチ 1	スイッチ 2	Wi-Fi SSID	Password
OFF	OFF	FEM_RAYSON_01（工場出荷時）	00000000
ON	OFF	FEM_RAYSON_02	00000000
OFF	ON	FEM_RAYSON_03	00000000
ON	ON	FEM_RAYSON_04	00000000

- ・器具を一括操作する場合、後述のAP（アクセスポイント）モードに設定した器具とST（ステーション）モードに設定した器具は、同じ SSID にしてください。
- ・一括操作を行わず、別々の器具をAPモードとして使用する場合、異なる Wi-Fi SSID にしてください。
- ・同じ Wi-Fi SSID に設定した場合、正常に通信することができなくなります。

Wi-Fi モード の設定

「APモード」と「STモード」があります。

スイッチ 3	Wi-Fi モード設定
OFF	AP(アクセスポイント)モード（工場出荷時）
ON	ST(ステーション)モード



●AP(アクセスポイント)モード(工場出荷時)

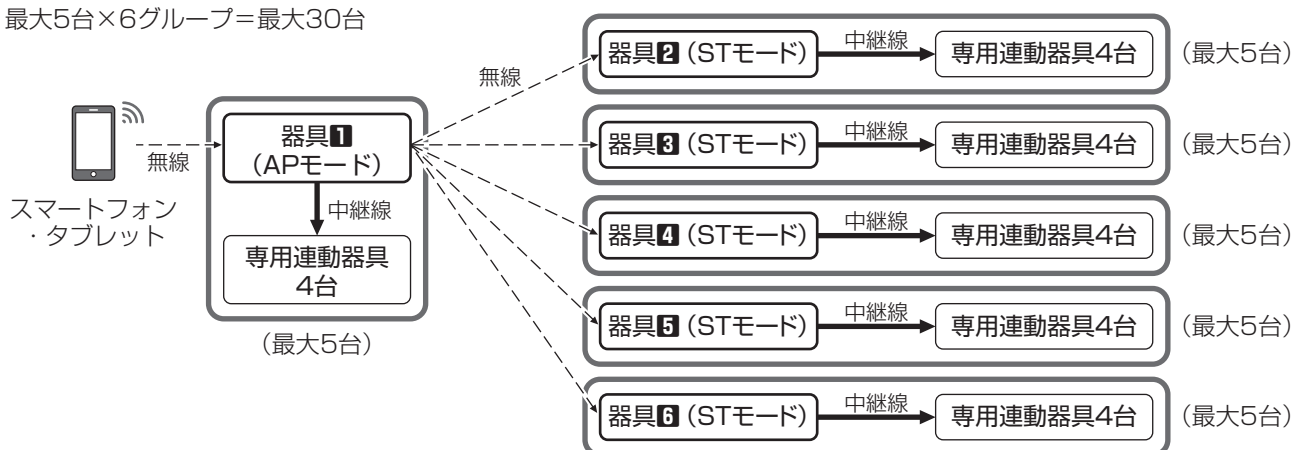
- ・APモードに設定された器具は、無線アクセスポイントとして、スマートフォン・タブレット、STモード器具と通信します。
- ・APモード器具1台につき、STモード器具を最大5台まで接続できます。

●ST(ステーション)モード

- ・STモードに設定された器具は、無線クライアントとして、APモード器具と通信します。
- ・（STモード器具は、スマートフォン・タブレットとは通信できません。）
- ・器具が複数ある場合、1台をAPモード、残りをSTモードにすることで、複数台を一括操作することができます。

<同一SSID内での最大接続台数>

最大5台×6グループ=最大30台

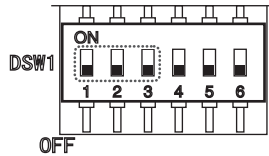


設定例 1

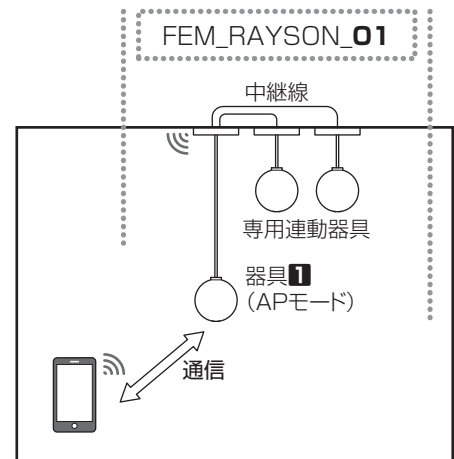
1 台の器具のみ操作する場合

モードスイッチを以下の通りにします。

スイッチ 1 : OFF	FEM_RAYSON_01
スイッチ 2 : OFF	
スイッチ 3 : OFF	
	APモード



注) スイッチ 4, 5, 6 は OFF のままにしておいてください。

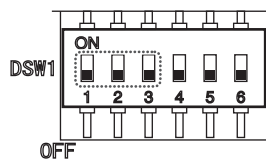


接続例 2

2 台以上の器具を一括操作する場合

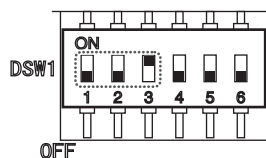
モードスイッチを以下の通りにします。

器具 1	
スイッチ 1 : OFF	FEM_RAYSON_01
スイッチ 2 : OFF	
スイッチ 3 : OFF	
	APモード



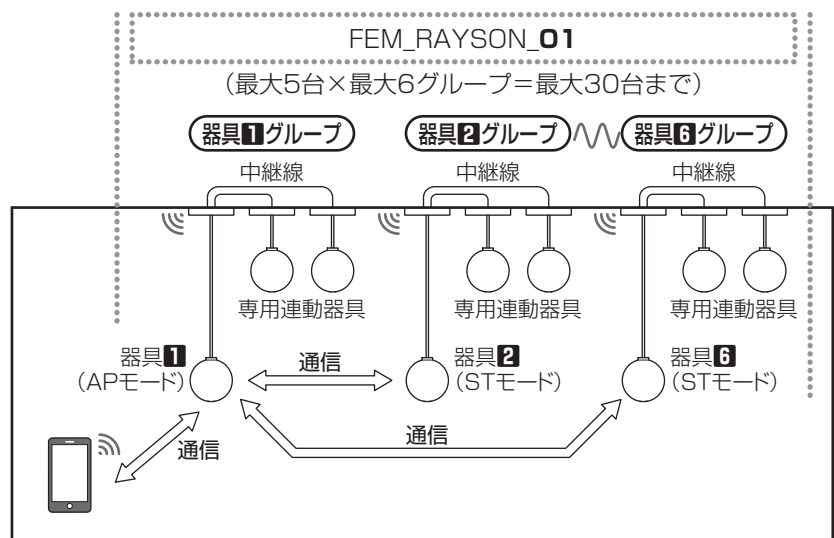
注) スイッチ 4, 5, 6 は OFF のままにしておいてください。

器具 2 ~ 6	
スイッチ 1 : OFF	FEM_RAYSON_01
スイッチ 2 : OFF	
スイッチ 3 : ON	
	STモード



注) スイッチ 4, 5, 6 は OFF のままにしておいてください。

・ APモード器具 1 台につき、STモード器具を最大 5 台まで接続できます。



接続例3

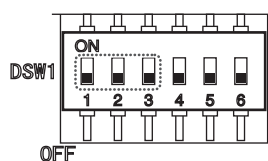
3台の器具を個別に操作する場合

モードスイッチを以下の通りにします。

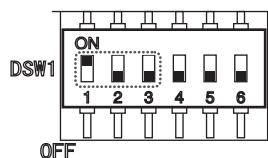
器具1	
スイッチ1：OFF	FEM_RAYSON_01
スイッチ2：OFF	
スイッチ3：OFF	APモード

器具2	
スイッチ1：ON	FEM_RAYSON_02
スイッチ2：OFF	
スイッチ3：OFF	APモード

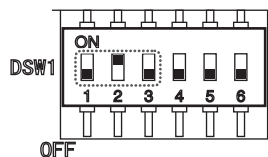
器具3	
スイッチ1：OFF	FEM_RAYSON_03
スイッチ2：ON	
スイッチ3：OFF	APモード



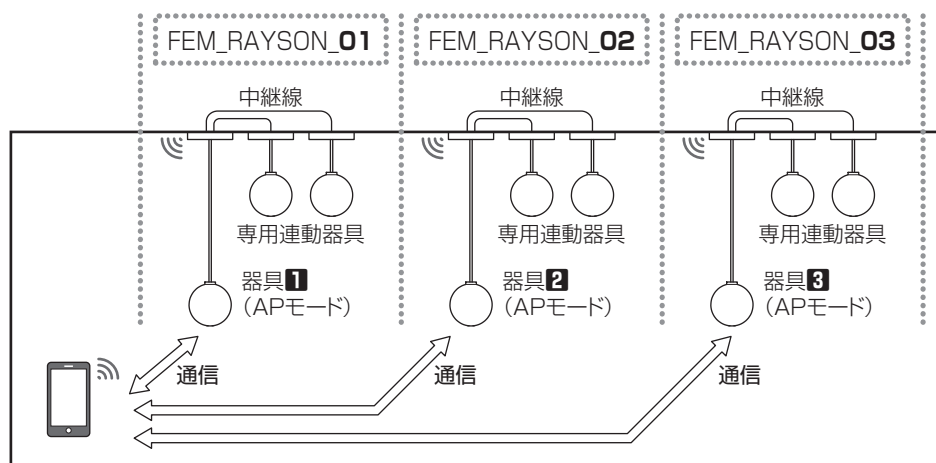
注)スイッチ4,5,6 は
OFFのままに
おいてください。



注)スイッチ4,5,6 は
OFFのままに
おいてください。



注)スイッチ4,5,6 は
OFFのままに
おいてください。



工事店様へ

- ・モードスイッチの設定内容は、取扱説明書4ページにご記入の上、お客様にお渡しください。
- ・専用アプリケーションのダウンロード、および操作方法については、取扱説明書をご参照ください。
- ・この説明書には器具の設定方法が記載されています。この説明書はお客様に必ずお渡しください。

レイゾン株式会社

〒601-8121 京都市南区上鳥羽大物町7番地 京都南ビル
<https://rayson-kyoto.com/>

